

ありば

「バリア」の逆は「ありば」。
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

VOL. 40
2020



表紙/バイオリンをひくともだち 小田原 永汰(おだはら えいた)さんの作品

昨年開催された第70回記念鹿児島県高校美術展で、高校文化連盟大賞を受賞した、加治木養護学校に通う小田原さん(17歳)。難病のための医療的なケアを受けながら、普段から絵を描くことを楽しんでいるそうです。受賞作は、同じ学校に通う先輩をモデルに、アクリル絵の具やクレヨン、さらに紙粘土など複数の画材を組み合わせ描き上げました。バイオリンを弾く動画を見ながら仕上げた作品は、今にも音楽が聞こえてきそうな躍動感があります。



CONTENTS

| | | | |
|---|--------|---|--------|
| [特集] かごしま県民手話言語条例・ 聴覚障害者が感じる日常の 社会的障壁 | PAGE 1 | ハードルを越えて 坂元 秀明さん | PAGE 5 |
| ありばヒューマンドキュメント 久木田 愛さん | PAGE 3 | バリアフリー最前線 フェリーみしま | PAGE 6 |
| ありば通心 末吉点字教室 | PAGE 4 | 鹿児島県からのお知らせ ・障害者保健福祉大会 | |
| | | 鹿児島県からのお知らせ ・ヘルプカード ・アルコール関連問題啓発週間 ・自殺に係る相談窓口の案内 | PAGE 7 |

